

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 2 事業名: 五合目総合管理センター設置運営事業費

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
村上アドバイザー	・五合目総合管理センターの改修工事の費用を分割で支払っているが、支払期間を9年間としている理由は何か。	課長 入倉博文	・賃貸借契約の期間が5年間であり、当初契約から1回更新した10年間を想定して分割にしている。実際には、初年度に改修工事を行い2年目から支払っているため、初年度を除いた9年間となっている。
村上アドバイザー	・当初の改修工事の費用が556万円で大規模修繕となっており、H29年の工事は341万円で小修繕となっているが、大規模修繕と小修繕の違いは金額によるものか。	副主幹 長谷川晋吾	・この建物を総合管理センターとして使用するために必要な改修を大規模修繕、使っていくうちに老朽化などで壊れた部分を直すものを小修繕と定義している。H29年は屋根から雨漏りが生じたため、屋上の防水工事を行っており、これに270万円程かかったため金額が大きくなっている。
村上アドバイザー	・諸経費の国庫納付金とはどのようなものか。	副主幹 長谷川晋吾	・この建物を建てる際に防衛省の補助金を活用しているが、耐用年数の途中で用途を変更すると防衛省へ補助金を返還しなければならない。この返還金1,676万円を、改修工事と同様10年間に分割して支払っているものである。
村上アドバイザー	・契約が更新された場合、この返還金はいつまで支払うのか。	課長 入倉博文	・契約更新が31年度なので、そこから5年ということで、35年度まで支払うこととなる。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
村上アドバイザー	・パネル展示の解説は、センターに入居している団体がやっているか。	課長 入倉博文	・入居団体ではなく、世界遺産センターができた頃から関わってきた方たちが個人としてやっている。
村上アドバイザー	・施設管理費には、人件費は含まれるか。また、期間は夏場だけか。	課長 入倉博文	・施設管理費には人件費が含まれる。期間は5月から10月までの分である。
小澤アドバイザー	・山日新聞で、保全協力金の周知に課題があるという記事を見た。保全協力金を払わない人が多いのだが、県では、登山者全員から払ってもらえるようにどのような対応を考えているか。	課長 入倉博文	・保全協力金は、任意で協力する寄付金であるため、登山者に対してあまり強かに支払いを求めることができない。制度への理解を得るために徴収場所を変えてみたり、旅行会社やバスの車内でPRするなどの工夫をしている。任意の制度として5年間試行錯誤をしながら、やれることはやってきたと考えている。その結果が約6割の徴収率であり、周りからはまだ足りないといわれている状況である。
小澤アドバイザー	・五合目で徴収する人を増やすことはできないか。	課長 入倉博文	・徴収員を増やせば徴収率は上がると思うが、その分のコストも増える。協力金を支払う登山者も、トイレや登下山道の整備のために使うことには納得するが、徴収員の人件費に使うのは理解が得にくい。このため、協力金の徴収経費は徴収額の3割以内というルールを作っている。
小口アドバイザー	・総合管理センターの賃借料について、経年劣化による修繕などは所有者が負担することが一般的だと思うが、どのような契約になっているか。	課長 入倉博文	・修繕については、小修繕も含めて借り主である県が負担する契約となっている。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	・修繕費を借り主が負担するというのは、かなり特殊な契約内容だと思うがいかがか。	課長 入倉博文	・借地借家法でも強行法規にかかっていない部分であり、借り主に不利であっても双方が同意していれば有効な契約である。一般的ではないかもしれないが、民法及び借地借家法でも認められている内容であると考えられる。
小口アドバイザー	・修繕費だけでなく、国への返還金や地代も県が負担するということだと、組合は何の負担もなく賃借料だけ入ってくるという契約である。この内容だと建物評価額の8%という賃料は民間の感覚だと極めて高いと感じるが、いかがか。	課長 入倉博文	・日本でも有数の観光地である五合目の土地は、平場と比べて何倍もの収益を上げることが可能であるため、その価値を同列に考えることはできない。
小口アドバイザー	・先ほどの大規模修繕の分割払いの話では、5年契約2回分を前提にしているようであるが、10年間賃借料を払うと買うのと変わらない金額を支払うこととなる。今年度末の再契約の際に、賃料や契約内容の見直しは行うのか。	課長 入倉博文	・このまま同内容で契約更新しなければならないという契約ではなく、更新の際に条件は変更可能である。
小口アドバイザー	・アドバイスブックが不足した際に、カラーコピーして配付したということか。	副主幹 長谷川晋吾	・28、29年に不足した分はカラーコピーで作成配付している。 会議終了後、カラーコピーではなくカラー印刷である旨訂正。
小口アドバイザー	・コピー代はどこから出ているか。	副主幹 長谷川晋吾	・一般的な事務経費から支払っている。
小口アドバイザー	・いくらかかったか把握しているか。	副主幹 長谷川晋吾	・金額は把握していない。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
<p>小口アドバイザー</p> <p>小口アドバイザー</p>	<p>・H27には大変な部数が余っているが、これはどうしたか。</p> <p>・この単価で計算すると180万円分くらい破棄することになる。この辺を踏まえてガイドブックをどうするかを考えていただきたい。毎年日程等が変わるという事情は分かるが、それは差し替えなどの方法を考えないと、大変な無駄になる。その辺の意識を持ってもらいたい。</p>	<p>課長 入倉博文</p>	<p>・余った分は廃棄している。</p>